

この芳潤な
ひととき……

イリーナ ピアノ・リサイタル メジューエワ

■プログラム

●(1回目のみ)

リスト:コンソレーション第3番/愛の夢第3番
ドビュッシー:沈める寺

●(2回目のみ)

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調「月光」

●(1回目・2回目共通)

J. S. バッハ:フランス組曲第5番/シューベルト:即興曲変ホ長調/同変ト長調/ショパン:幻想即興曲嬰ハ短調/同3つのワルツ/雨だれのプレリュード変ニ長調/同即興曲第3番変イ長調/同英雄ポロネーズ変イ長調

5月25日(土)2024年

●第1回午後1時30分開演(1時開場)

●第2回午後5時開演(4時30分開場)

●各回先着150名

●鑑賞券 ¥1,000/小・中学生 ¥500

●3月5日(火)より販売開始/午前9時～午後5時(月曜日と祝祭日の翌日は除く)

※前売り券が完売の場合、当日販売はありません

●車椅子席用意あり、要事前予約

●駐車場有り●保育なし

●電話予約は3月12日(火)より受け付けます
1週間以内のお引取りをお願いします

●お客様都合によるキャンセルおよび返金はお受けしていません、予めご了承下さい

●申込み・問合せ 042-755-6000



Photo 鈴木哲史(カフェ・ナチュラル)

担当:公民館文化部

<裏面参照>

●大野台公民館20回出演記念特別公演!!



🌸コロナ禍を乗り越え 挑戦するメジューエワ、この4年...

〔それぞれの年の主な活動〕

●2023年

2年がかりのシリーズ「ショパンの肖像」をスタート(東京4公演、名古屋6公演)。11月には京都公演にて平野一郎「ピアノ・ソナタ」第1番(光人彷徨)を世界初演。音楽界の話題を呼ぶ。

●2022年

6月京大創立125周年記念音楽会に出演(広上淳一指揮京都市交響楽団と共演)。11月、ラフマニノフが所有していたスタインウェイで演奏会。模様はNHK「クラシック倶楽部」で放送され、関心を呼んだ。

●2021年

コロナ禍発生、公演の多くがキャンセルされたが、伊賀上野、京都、芦屋、長野、名古屋などでは暖かいファンの要望に応じてコンサートが催された。コロナ禍は演奏者にとっても大きな試練のひとつであった。

●2020年

ベートーヴェン生誕250年の記念イヤー、東京とびわ湖、名古屋でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会が予定されていたが、コロナ禍によりその大半がキャンセル。大野台のスペシャル・コンサートもやむなく延期。



中国公演サイン会

〔中国へ進出、大歓迎！〕

2018年イリーナ・メジューエワは初めて中国のツアーを実施しました。福州、広州、聊城、廈門(アモイ)を巡り、大評判となりました。翌2019年には早急なオファーが追加され、成都、上海、深圳、大連など五大都市をまわって公演が行われました。経済的に豊かになった中国ではクラシック音楽に対する関心が高まっているようです。

〔意欲的なCD新録音、着々〕

- ①「ラフマニノフ作品集」(’23年)
- ②「ショパン:エチュード集」(’23年)
- ③「ノスタルジア」(’22年)
- ④「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全集」(’20年)
- ⑤「メジューエワ・プレイズ・エラーール
～びわ湖ホール、リサイタル2018」(’19年)
- ⑥「メンデルスゾーン作品集」ロンド・カプリッチオーソ、他(’19年)
- ⑦「京都リサイタル2018」メンデルスゾーン、ショパン、他(’19年)
- ⑧「ショパン:4つのスケルツォ」子守歌、タランテッラ、他(’19年)
- ⑨「ベートーヴェン:熱情&ワルトシュタイン」(’19年)

